



第102回 箱根駅伝

全日本大学駅伝

出雲駅伝

観戦ガイドブック 2025-2026



第101回 箱根駅伝
(2025年1月開催)



第37回 出雲駅伝
(2025年10月開催)



第56回 全日本大学駅伝
(2024年11月開催)

学生三大駅伝 4年連続出場!!

箱根駅伝6年連続シード権!!

ご挨拶

日頃より陸上競技部駅伝部に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

創価大学駅伝部は、国内外の皆様からの大応援を力として、箱根駅伝6年連続シード権獲得、4年連続三大学生駅伝出場との実績をあげることができました。誠にありがとうございました。

榎木監督、川嶋総監督の強力なタッグのもと、新チーム結成以来、「闘創心～Next Stage 2～」のチームスローガンを掲げ、「三大駅伝3位以上」との目標に向か、日々の練習、夏の強化合宿等を通じて、今年も皆さまのご期待にお応えできる実力をつけてきています。

闘創心を持ち、チームの勝利へと全力を出し切る走りに挑戦する選手たちに、皆様の沿道やテレビの前から大声援をお願いいたします。

応援して下さる皆様に勇気と感動をお届けできるよう大学も駅伝部を全力でサポートしてまいります。

どうかよろしくお願ひいたします。



学校法人創価大学
理事長

秋谷 芳英

創価大学学長

鈴木 美華

学生歌

作詞／沖洋

作曲／川上慎一

1.

紅群れ咲く つつじの丘を
白蝶あそこに 喜び舞いて

葉桜薫れる キヤンバス広く

集える若人 緑のしげり

青嵐はげしく 天空吹いて

凜々しくそびゆる 白亜の学舎

筆とる心に 秘めたる思い

2.

桑の実みのれる 城跡ゆけば
榮枯の夢に たそがれこめぬ

父母想いて はるかを見れば

点々ともれる 灯淡き

あおげば金星 妙なる光

燃えなんわが胸 正義の心

降りゆくとばりは 土墨をつつむ

誰がために 平和の要塞築きたる

3.

むらさきただよう 武藏の空に
沈黙を破りて 朝日は昇りゆく

学徒の姿に 自覚で立てば

青山洋々かなたに富士が

雄々しき理想 馳せたる君に

不二の峯真白く 染まりて嵩し

栄えある路征く 己に問うは
誰がために 生命の真求むかな

創価大学陸上競技部駅伝部 指導スタッフ



カワシマ シンジ
総監督 川嶋 伸次

日頃より創価大学駅伝部に対し多大なるご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

春のシーズンにおいては関東インカレや全日本インカレでしっかりと結果を残すことができ選手の成長を実感することができました。暑さの厳しかった夏合宿や厳しい条件下でのケニア合宿において選手それぞれが、苦しみながらも練習を積み上げることができました。やってきたことを自信にしてチーム全員で堂々と「三大駅伝」を戦っていきたいと思います。今後も温かいご支援宜しくお願ひいたします。



エノキ カズタカ
監督 梶木 和貴

日頃より創価大学駅伝部の活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜りありがとうございます。

いよいよ大学三大駅伝が幕を開けますが、今年は全ての駅伝において3位以上というチーム目標を掲げ『闘創心』～Next Stage2～のスローガンのもとチーム作りに取り組んで参りました。

5月の関東インカレでは、昨年過去最高の得点と入賞者の輩出を上回る成績を残し、6月に開催された日本インカレでも5000m、10000m、3000mSC入賞などトラック競技でも成果を挙げることができました。また函館ハーフでは61分台での優勝や自己記録の更新、7月の日本選手権5000mでの決勝進出など充実した前期シーズンを終えることが出来ています。

三坂キャプテンを中心とする今体制では、前にも記載しておりますが『闘創心』のスローガンのもと、創価大学らしい闘う攻めの走りでチーム目標の達成に向けて頑張ります。

なお、昨年のパリ五輪に続き東京世界陸上2025の10000mの代表となった49期卒業生の葛西潤選手(旭化成所属)の走りにも勇気と元気をいただきました。

大学駅伝を通してチーム目標の達成と人間的な成長を願い、創価大学の歴史と伝統を繋いで参りたいと思います。

これからも温かい応援と激励をお願い申し上げます。

候補選手紹介

4年



ミサカ ヨシタカ
主 将 三坂 佳賞

- 法学部・法律学科
- 樟南高校・鹿児島県
- 日頃より多大なるご支援、ご声援ありがとうございます。箱根駅伝は「3位以上」という目標を掲げています。チーム一丸となり、支えてくださったすべての方々への感謝の力に、走りで恩返しを体现します!

4年



アダチ タカシ
主 務 安達 隆志

- 経済学部・経済学科
- 関西創価高校・愛知県
- 日頃より創価大学にご支援、ご声援を賜りまして誠にありがとうございます。一年の集大成となる箱根駅伝で、闘争心を燃やして目標である「3位以上」を達成します! 当日は沿道、テレビの前での熱い応援をよろしくお願いします!



シノミヤ ノリヒコ
部 長 篠宮 紀彦
理工学部教授・
情報システム工学科長

日頃より温かいご支援を賜り大変にありがとうございます。

チームはさらなる飛躍を目指し、選手たちは世界レベルを意識した練習を重ねています。逆境に負けず、粘り強く戦う走りにご期待ください。



ヘッドコーチ
クボタ ミツル
久保田 満



コーチ
ツキダテ ヨウスケ
築館 陽介

4年

イシマル ジュンナ

石丸 悠那

- 経済学部・経済学科
- 出水中央高校・鹿児島県
- 総合3位以上を達成できるよう全力を尽くします!

4年

クロキ ヒナタ

黒木 陽向

- 経営学部・経営学科
- 九州学院高校・熊本県
- 最初で最後の箱根駅伝、爆走してチームのメダル獲得に貢献します!

4年

タケダ コウスケ

竹田 康之助

- 経営学部・経営学科
- 東海大札幌高校・北海道
- 感謝の気持ちを持ち、チームに恩返しする走りをします!

3年

オリハシ タクミ
織橋 巧

- 経済学部・経済学科
- 中京高校・岐阜県
- 大暴れします!

3年

コイケ リキ
小池 莉希

- 教育学部・児童教育学科
- 佐久長聖高校・長野県
- 日頃応援してくださる全ての方に対し、恩返しできるような走りを魅せます!

3年

サイトウ ソラ
齊藤 大空

- 経営学部・経営学科
- 利府高校・北海道
- 1年間の気持ち、全てぶつけます!

2年

イシマル シュウナ
石丸 修那

- 経営学部・経営学科
- 出水中央高校・鹿児島県
- 覚悟を持って駅伝に臨み、チームの主力となれる走りを見せます!

2年

ウラカワ カンゴ
浦川 栄伍

- 経済学部・経済学科
- 開新高校・熊本県
- 区間賞を獲って、チームの流れを変える走りをします!

2年

エノキ リンタロウ
榎木 凜太朗

- 経営学部・経営学科
- 小林高校・宮崎県
- 箱根駅伝では復路でチームの柱として区間賞争いができるよう頑張ります。

2年

ヤマグチ ショウキ
山口 翔輝

- 経営学部・経営学科
- 大牟田高校・山口県
- 持ち味の粘りを活かし、最後まで気持ちで勝負します。

2年

ヤマセ ヨシキ
山瀬 美大

- 教育学部・教育学科
- 熊本工業高校・熊本県
- 練習からチームを盛り上げるような走りをして、レースでは勢いをつける走りができるように頑張ります。

1年

ウチヤマ リョウタ
内山 榛太

- 経営学部・経営学科
- 名経大高蔵高校・三重県
- 自分の力を100%出し切り、新春の箱根路を大爆走します!!

4年

ノザワ ユウマ

野沢 悠真

- 経済学部・経済学科
- 利府高校・宮城県
- 最後の箱根、区間賞獲ります!

4年

ヤマシタ レン

山下 蓮

- 経済学部・経済学科
- 鎮西学院高校・長崎県
- 箱根駅伝は区間賞の走りでチーム3位以内を獲得します!

3年

イケベ コウタロウ

池邊 康太郎

- 教育学部・教育学科
- 熊本工業高校・熊本県
- チームの代表として、精一杯戦います!

3年

シノハラ カズキ

篠原 一希

- 経済学部・経済学科
- 山梨学院高校・静岡県
- 粘り強い走りでチームに貢献します!

3年

スティーブン ムチニ

- 経済学部・経済学科
- ミクユニ高校・ケニア
- 箱根駅伝に向けて区間賞を心待ちにしながら準備を進めています!

3年

ネガミ カズキ

根上 和樹

- 経営学部・経営学科
- 御殿場西高校・静岡県
- チームを勢いづける走りをします!

2年

サイトウ イチズ

齋藤 一筋

- 経済学部・経済学科
- 学法石川高校・福島県
- チーム一丸となつて、3位以上を目指します。

2年

ソロモン ムトウク

- 経済学部・経済学科
- キャングマ高校・ケニア
- 自分の区間で良い走りをするために日々のトレーニングを最高の気分で頑張っています!

2年

ニシヤマ シュウヘイ

西山 修平

- 教育学部・教育学科
- 京都外大西高校・京都府
- 昨年の悔しい思いを駅伝で晴らせるように、またチームに貢献できるように全力で頑張ります!

1年

オオクラ オオラ

大倉 凜來

- 経営学部・経営学科
- 倉敷高校・岡山県
- 自分が希望する区間を走り、区間上位で走り切りチームの目標に貢献します。

1年

キヌガワ ユウタ

衣川 勇太

- 経営学部・経営学科
- 西脇工業高校・兵庫県
- 1年生らしくチームに勢いをつけるような走りをします!

1年

ヤマモト ショウブ

山本 菖蒲

- 経営学部・経営学科
- 鎮西学院高校・長崎県
- 前回の吉田響さんのように、どんな状況でも良い流れを作る走りができるよう頑張ります。

箱根駅伝6年連続シード権!

学生三大駅伝4年連続出場!

第37回 出雲駅伝

2025年 10月13日 3位 〈5回目出場〉

出雲駅伝5回目出場で、目標の “トップスリー、を達成!!

10月13日に開催された出雲駅伝に創価大学が5年連続で出場した。レース前日のプレスインタビューで、「走らせたい6名を選ぶことができました。目標である『3位以上』を勝ち取れるようにチャレンジしたい」と語った榎木和貴監督。指揮官の言葉通り、出雲路で“最強の6人”が力強い走りを披露した。

1区の織橋巧(3年)は途中で先頭集団から離されても、終盤に挽回。トップの中央大学と13秒差の4位でスタートを切った。2区の小池莉希(3年)は日本選手権5000m決勝に進出したスピードでグングン飛ばしていく。早稲田大学・山口智規(4年)のスパートには対応できなかったが、帝京大学と中央大学を抜き去り、3位でタスキをつないだ。

3区のスティーブン・ムチーニ(3年)は21秒先の早稲田大学を追いかける。後方から浮上してきた城西大学、國學院大學、アイビーリーグ選抜に並ばれたが、4.5km地点でトップの早稲田大学に7秒差と迫った。しかし、終盤はペースが上がらない。駒澤大学を抜いた



1区・織橋巧は初めての出雲路を区間4位で好走し、チームに勢いを与えた

ものの、4チームにかわされて6位での中継になった。

劣勢になりそうな雰囲気を覆したのが4区の石丸惇那(4年)だ。昨年は1区で区間10位と振るわなかつたが、今回は区間3位と好走。東京国際大学をかわして、5位に浮上する。さらに5区の山口翔輝(2年)が城西大学を抜いて、早稲田大学に4秒差まで急接近した。

國學院大學が連覇に向けて独走したレース。5区



チームメイトに迎えられてゴールする6区・野沢悠真

■第37回出雲駅伝 成績

総合成績	区	氏名	タイム	区間順位	通算順位
総合 3位 2:10:05	1	織橋 巧	23:41	4	4
	2	小池 莉希	16:28	4	3
	3	ステイブンムチーニ	24:16	5	6
	4	石丸 悠那	17:32	3	5
	5	山口 翔輝	18:09	4	4
	6	野沢 悠真	29:59	5	3

終了時で2~6位までの5チームが51秒以内にひしめいていた。大混戦のなかでもアンカー野沢悠真(4年)は冷静だった。4位で走り出すと、8秒前のアイビーリーグ選抜に追いつく。しばらく並走した後、引き離した。最後は両手を広げてゴールに飛び込み、創価大学は2時間10分05秒の3位でフィニッシュ。昨年の4位を上回る過去最高順位でターゲットの「3位以上」を達成した。

「まずは目標をひとつクリアできました。昨年は2区で区間賞を獲得した吉田響の走りが突出したような戦い方でしたが、今年は全員が区間5位以内でまとめられた。そこは成長だと思うので、これを自信に全日本と箱根に向けてしっかりと準備していきたいです」(榎木監督)



2区・小池莉希は区間4位の快走で櫻を繋ぐ

エース区間で好走する3区・ステイブンムチーニ



区間3位で順位を押し上げた4区・石丸悠那

攻めの走りで区間4位の5区・山口翔輝

第57回 全日本大学駅伝

2025年 11月2日 〈4回目出場〉

**出雲に続き、昨年の4位を上回る
『3位以上、を目指す!!』**

■全日本大学駅伝 過去3大会の成績

大会(開催日)	総合成績	タイム
第54回大会(2022年11月6日)	5位 ※シード権獲得	5:12:10
第55回大会(2023年11月5日)	6位 ※シード権獲得	5:18:21
第56回大会(2024年11月3日)	4位 ※シード権獲得	5:13:17



第56回大会のスタート

出雲・全日本・箱根の戦い――

2025年度の三大駅伝優勝を目指すチームの成長

トラックシーズンで過去最高の成績を残した創価大学。8月は黒木陽向(4年)、小池莉希(3年)、山口翔輝(2年)、石丸修那(2年)がケニア合宿を敢行。他の選手たちも例年以上に距離を踏んできた。夏合宿を経て、さらにたくましくなった選手たち。いよいよ学生三大駅伝が幕を開ける。

10月の出雲駅伝を経て、11月は昨年過去最高の4位に入った全日本大学駅伝に向かう。目標の『3位以上』を目指して、「4区までにトップスリーに入ってつないでいきたい」と榎木和貴監督は考えている。石丸惇那

(4年)、黒木、スティーブン・ムチーニ(3年)、小池、織橋巧(3年)らが前半区間の候補。終盤のロング区間は、前回8区を区間2位と快走した野沢悠真(4年)や、ハーフマラソンで結果を残している山口が候補になりそうだ。

新チームは三坂佳賞が主将、黒木陽向が副主将に就任。昨季同様の学生三大駅伝で『3位以上』という目標を掲げると、『闘創心～NEXT STAGE2～』というスローガンのもと今季の戦いをスタートさせた。

そして5月の関東インカレは青山学院大学、駒澤大



関東インカレ10000mおよび5000mで2冠を果たしたスティーブン・ムチーニと、両種目で8位入賞の小池莉希

学、國學院大學など強豪校がひしめく2部の長距離種目で存在感を発揮する。10000mと5000mでスティーブン・ムチーニ(3年)が2冠を果たして、両種目で小池莉希(3年)が8位。ハーフマラソンは野沢悠真(4年)と山口翔輝(2年)が2位と3位に入る。3000mSCはソロモン・ムトゥク(2年)と黒木がワン・ツーを達成して、長距離4種目で過去最多の46点を獲得した。6月の日本インカレでは10000mでムチーニが2位、石丸惇那(4年)が5位、山口が6位に入り、トリプル入賞を達成。5000mは小池が5位、黒木が6位に食い込み、ダブル入賞を果たした。7月の日本選手権5000mでは小池が学生勢では3人しか進むことができなかった決勝(13位)の舞台に立っている。



関東インカレ ハーフマラソン 2位 野沢悠真、3位 山口翔輝

2022年夏に日本一ともいえる最新設備が整った新・白馬寮が完成すると、昨季からはシドニー五輪男子マラソン代表で東洋大学、旭化成で抜群の指導力を発揮した川嶋伸次氏が総監督に就任。今年の箱根駅伝は吉田響(サンベルクス)が花の2区で1時間5分43秒の日本人最高記録を打ち立てた。

創価チームで成長を遂げたOBの活躍も目覚ましい。葛西潤(旭化成)は昨年のパリ五輪に続き、今年9月の東京世界陸上にも日本代表として男子10000mに出場。新家裕太郎(愛三工業)は今年のアジア選手権3000mSCで銀メダル。鳴津雄大(GMO)は今年のニューイヤー駅伝6区で区間賞を獲得している。

創価大学は「新たなステージ」に突入した。



日本インカレ10000mトリプル入賞、2位 スティーブン・ムチーニ、5位 石丸惇那、6位 山口翔輝



関東インカレ3000mSC ワン・ツーフィニッシュ、1位 ソロモン ムトウク、2位 黒木陽向



パリ五輪および東京世界陸上 10000m日本代表 葛西潤

2025アジア選手権 3000mSC 銀メダル 新家裕太郎

ニューイヤー駅伝2025 6区・区間賞 嶋津雄大

強化合宿トレーニング

菅平高原(長野県)、妙高市(新潟県)、深川市(北海道)、御岳(岐阜県)、島田市(静岡県)、延岡市(宮崎県)などで強化合宿を実施し、集中的な走り込みで秋の駅伝シーズンに備えます。さらに大学チームとしてはほとんど例がないケニア合宿も敢行しています。



菅平合宿／毎日、早朝より行われる練習前ミーティングで緊張感を高める



ケニア合宿／選抜メンバーによる約3週間の高地トレーニング



菅平合宿／アップダウンのある林間のロードコースを走り込む



菅平合宿／高原のトラックで効率の良いトレーニングを重ねる



御嶽合宿／悪天候の中でも、目標に向けてしっかりと走り込みを行う



北海道深川合宿／ロード走やタイムトライアル練習を行い持久力を高める

第102回 箱根駅伝

2026年1月2日・3日〈9回目出場〉

箱根駅伝に6年連続出走・ 6年連続シード権獲得

学生駆伝の“上位校、に定着した創価大学の強さ



を終えた榎木和貴監督の言葉には力がこもっていた。

創価大学は2019年2月に榎木監督が就任して、学生長距離界に『新たな風』を吹き込んでいる。初年度は箱根駅伝予選会を3年ぶりに突破。本戦でも9位に入り、初めてシード権を獲得する。1区で米満怜が大学初の区間賞に輝き、最終10区では嶋津雄大が13年ぶりの区間新記録をたたき出した。翌年(21年)の正月は4区の嶋津が首位を奪うと、その後は143km以上もトップを独走。過去3回しか出場していないチームが初めて往路を制して、総合でも2位に食い込んだ。この活躍はフロック(偶然の幸運)ではない。その後の箱根駅伝は7位、8位、8位、7位と連続シードを継続中で、全日本大学駅伝

も3年連続でシード権(6位以内)を獲得中なのだ。

学生駅伝の『上位校』に定着した創価大学だが、これまで『即戦力』といえるような新入生は入学していない。「5000m13分台の選手が入ってこない状況でも戦わないといけません。当初は箱根駅伝で戦うために月間走行距離『750km』という目標を立てて、強化してきました。就任4~5年目はスピードの対応力を上げることに取り組み、5000m13分台を10人以上揃えることができるようになったんです」(榎木監督)

箱根駅伝に向けては、夏前から往路を狙う選手と、復路を狙う選手で異なる強化方針を打ち出している。前者は近年の高速化を意識したトレーニングも行う。後者は



第101回大会4区・野沢悠真

第101回大会5区・山口翔輝

第101回大会6区・川上翔太

第101回大会7区・織橋巧

第101回大会8区・石丸修那

●平塚中継所 通過予定期刻

往路／11:11(繰り上げ時間:15分)

復路／10:01(繰り上げ時間:20分)



単独でもキロ3分ペースで押していくようなスタミナを強化している。

正月のレースでは前回5位以内に入った青山学院大学、駒澤大学、國學院大學、早稲田大学、中央大学が強力なライバルとして立ちはだかる。そのなかで創価大学はどんなレースを展開していくのか。1区は黒木、石丸惇、小池、織橋が希望しており、前回経験者の齊藤大空(3年)も調子を上げてきてている。2区は前々回区間5位と

好走しているムチーニが有力候補で、3区には1区候補で名前が挙がったスピードランナーが入るだろう。5区は前回区間10位の山口や、1年時に山を経験している野沢のほか、夏合宿で上りの適性を見せている選手が担うことになる。6区は斎藤一筋、西山修平(ともに2年)が候補に挙がる。そして9・10区には『逃げ切り』ができるだけの選手が育ちつつある。どこかで勝負を仕掛け、初優勝のチャンスをつかみたい。

創価大学 箱根駅伝の出場記録 ()は区間順位

大会	第91回大会	第93回大会	第96回大会	第97回大会	第98回大会
総合成績	20位 11:31:40	12位 11:20:37	9位 10:58:17	2位 10:56:56	7位 10:56:30
往路成績	20位 5:44:45	9位 5:39:25	7位 5:27:34	1位(往路優勝) 5:28:08	8位 5:27:44
復路成績	20位 5:46:55	13位 5:41:12	9位 5:30:43	5位 5:28:48	6位 5:28:46
1区	山口 修平 1:02:46 (13)	大山 憲明 1:05:03 (17)	米満 怜 1:01:13 (1)	福田 悠一 1:03:15 (3)	葛西 潤 1:02:21 (15)
2区	後沢 広大 1:12:26 (20)	ムソニ ミイル 1:08:05 (4)	ムソニ ミイル 1:07:58 (11)	フィリップ ムルワ 1:07:18 (6)	フィリップ ムルワ 1:06:41 (2)
3区	蟹沢 淳平 1:07:27 (19)	蟹沢 淳平 1:04:28 (7)	原富 慶季 1:03:16 (11)	葛西 潤 1:02:41 (3)	桑田 大輔 1:04:02 (17)
4区	大山 憲明 56:34 (10)	セルナルド 祐慈 1:04:17 (5)	福田 悠一 1:01:55 (4)	嶋津 雄大 1:02:49 (2)	嶋津 雄大 1:01:08 (1)
5区	セルナルド 祐慈 1:25:32 (20)	江藤 光輝 1:17:32 (16)	築館 陽介 1:13:12 (12)	三上 雄太 1:12:05 (2)	三上 雄太 1:13:32 (12)
6区	小島 一貴 1:00:51 (12)	作田 将希 1:02:08 (19)	葛西 潤 1:00:25 (16)	濱野 将基 58:49 (7)	濱野 将基 59:04 (9)
7区	江藤 光輝 1:06:33 (19)	古場 京介 1:07:23 (18)	右田 純羅 1:05:15 (18)	原富 慶季 1:03:12 (2)	新家 裕太郎 1:03:42 (4)
8区	新村 健太 1:08:54 (20)	米満 怜 1:06:33 (3)	鈴木 大海 1:06:39 (9)	永井 大育 1:05:10 (8)	吉田 凌 1:05:46 (8)
9区	彦坂 一成 1:13:07 (19)	三澤 匠 1:12:41 (13)	石津 佳晃 1:09:44 (6)	石津 佳晃 1:08:14 (1)	中武 泰希 1:10:47 (16)
10区	沼口 雅彦 1:17:30 (19)	彦坂 一成 1:12:27 (8)	嶋津 雄大 1:08:40 (1)	小野寺 勇樹 1:13:23 (20)	松田 爽汰 1:09:27 (5)



現コース最高記録

- 第1区(21.3km) 1時間0分40秒：吉居大和(中央大学)第98回(2022年)
- 第2区(23.1km) 1時間5分31秒：リチャード・エティーリ(東京国際大学)第101回(2025年)
- 第3区(21.4km) 59分25秒：イエゴン・ヴィンセント(東京国際大学)第96回(2020年)
- 第4区(20.9km) 1時間0分0秒：イエゴン・ヴィンセント(東京国際大学)第99回(2023年)
- 第5区(20.8km) 1時間9分11秒：若林宏樹(青山学院大学)第101回(2025年)
- 第6区(20.8km) 56分47秒：野村昭夢(青山学院大学)第101回(2025年)
- 第7区(21.3km) 1時間0分43秒：佐藤圭汰(駒澤大学)第101回(2025年)
- 第8区(21.4km) 1時間3分49秒：小松陽平(東海大学)第95回(2019年)
- 第9区(23.1km) 1時間7分15秒：中村唯翔(青山学院大学)第98回(2022年)
- 第10区(23.0km) 1時間7分50秒：中倉啓敦(青山学院大学)第98回(2022年)

● 総合記録(217.1km)

10時間41分19秒：青山学院大学 第101回(2025年)

● 往路記録(107.5km)

5時間18分13秒：青山学院大学 第100回(2024年)

● 復路記録(109.6km)

5時間20分50秒：駒澤大学 第101回(2025年)



第99回大会		第100回大会		第101回大会	
8位	10:55:55	8位	10:57:21	7位	10:53:35
10位	5:29:15	7位	5:28:08	5位	5:23:38
4位	5:26:40	7位	5:29:13	11位	5:29:57
横山 魁哉	1:03:02 (5)	桑田 大輔	1:01:25 (2)	齊藤 大空	1:03:02 (17)
フィリップ ムルワ	1:07:29 (6)	スティーブンムチニ	1:06:43 (5)	吉田 韶	1:05:43 (2)
山森 龍暁	1:02:58 (14)	山森 龍暁	1:04:19 (19)	スティーブンムチニ	1:00:51 (2)
嶋津 雄大	1:02:20 (8)	野沢 悠真	1:03:03 (15)	野沢 悠真	1:01:44 (6)
野沢 悠真	1:13:26 (13)	吉田 韶	1:12:38 (9)	山口 翔輝	1:12:18 (10)
濱野 将基	59:12 (4)	川上 翔太	58:15 (3)	川上 翔太	59:33 (13)
葛西 潤	1:02:43 (1)	石丸 慎那	1:03:42 (8)	織橋 巧	1:03:09 (8)
桑田 大輔	1:05:07 (9)	小池 莉希	1:06:16 (15)	石丸 修那	1:05:54 (11)
緒方 貴典	1:08:23 (2)	吉田 凌	1:10:44 (15)	吉田 凌	1:10:20 (13)
石丸 慎那	1:11:15 (15)	上杉 祥大	1:10:16 (11)	小池 莉希	1:11:01 (13)

●鶴見中継所 通過予定時刻

往路／9:01(繰り上げ時間:10分)
復路／12:17(繰り上げ時間:20分)

●大手町 予定時刻

往路／8:00スタート
復路／13:27ゴール





闘創心～Next Stage 2～

創価大学 陸上競技部駅伝部 “X”応援キャンペーン

広報Xで配信する投稿を皆でリポストし、
駅伝部への応援をお願いします!

- ① @soka_univをフォロー
- ② 駅伝部に関する投稿をリポスト



創価大学 駅伝部ホームページです! ➡



箱根駅伝 公式サイト
(関東学生陸上競技連盟・読売新聞) ➡



日本テレビ 箱根駅伝サイト ➡



創価大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
<https://www.soka.ac.jp>

